

# キク産地における安定出荷体制の整備支援

## 要約

葛城市は歴史あるキク産地であるが、生産者の高齢化や担い手不足、労力負担の大きさによる生産量の減少や、販売単価の低迷等による所得の低下が大きな問題となっている。また、産地として計画的な生産・出荷が行われていないことが販売単価の低下要因となっている。そこで、生産者の経営改善を図るため、JAならけん葛城花卉出荷組合に対し、県が育成した無側枝性二輪ギクの導入推進と、計画生産出荷体制の整備や単叢各品種の選定に向けた支援を行った。

### 現状(背景)と課題

- 二輪ギク  
出荷量 36万本  
県育成品種 4.3万本
- キク全般  
単叢各品種未選定



### 目標

- 二輪ギク  
出荷量 38万本  
県育成品種 6万本
- キク全般  
単叢各品種の選定

## 活動内容

- 二輪ギク
  - ① 無側枝性二輪ギク品種の導入  
県育成品種の導入推進（千都の風、千都の舞）と新系統の現地試験（7系統）の実施
  - ② 実需者ニーズが最も高い9～10月咲き品種の計画生産出荷体制の整備支援  
生産者への生產品種の割り当て及び市場へ出荷事前情報提供支援
- キク全般  
単叢各品種の選定に向けた生産者への啓発活動、検討会の開催  
実需者ニーズ調査の実施

## 成果

- ① 二輪ギク
  - 作付面積は前年を上回ることができ（前年対比 101%）、生産量の低下に歯止めをかけることができたが、気象異変により病害が多発したため出荷量は前年度を下回った（33万本）。
  - 県育成品種の出荷量は目標達成には至らなかったが、前年対比 119%（5.1万本）に増加させることができた。また、新規系統の現地試作で品質や生産性に優れる有望系統を2品種検索することができ県で登録出願手続中。
  - 市場へのお荷事前情報を強化し、販売単価が上昇した（H26：42.7円/本 → H27：45.3円/本）。市場からは、事前にお荷時期と量の目安が把握できたので販売しやすかったとの評価を得た。
- ② キク全般
  - 産地単叢各の必要性への意識付けを行い、単叢各品種を60品種選定することができた。（葛城花卉出荷組合の生產品種数 259品種）



県育成無側枝性二輪ギク  
新系統の品質評価



登録出願した品種



単刈品種の選定検討会

### 普及活動のポイント

二輪ギクの計画生産については、継続した啓発活動や具体的な方策の提示、種苗確保の調整支援、実需者ニーズ調査等を実施することで一定の成果を得ることができた。また、葛城市キク産地振興協議会を活用して、若手・中堅生産者を中心に啓発活動を行った。

### 対象の変化

継続的な啓発活動により、生産者の意識に変化が見られた。今年度は二輪ギクで計画生産を試行したが、次年度は輪ギクで実施したいと生産者が自ら提案するまでになった。

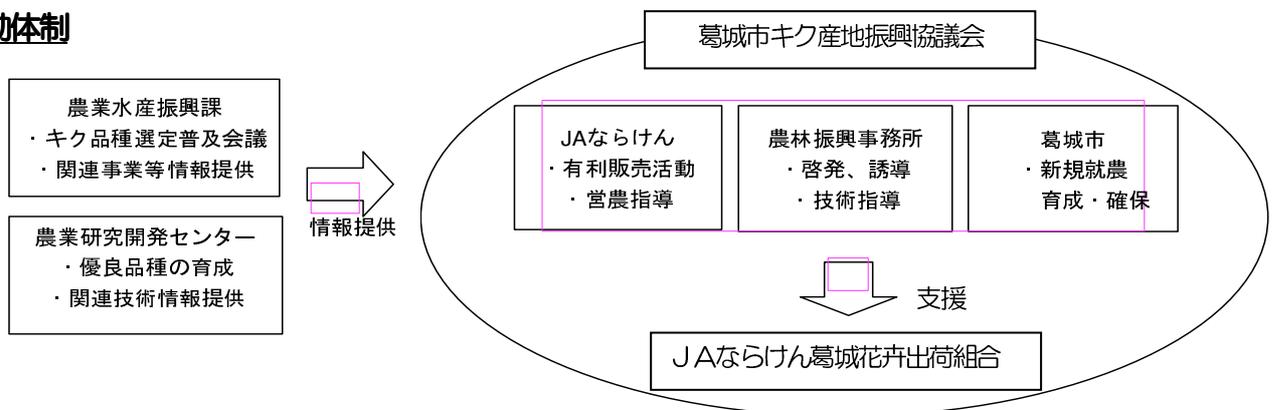
### 対象者からのコメント

年々生産者が減っていく中、産地の生き残り策として、特産物の二輪ギク・ミスギクの生産強化や、一輪ギク等の需要期の安定供給体制づくりが必要であり、今後もそれらに向けた継続した支援をお願いする。

### これからの活動ビジョン

- ・県育成品種の普及推進等による二輪ギクの生産量の拡大支援
- ・病害対策の徹底による安定生産出荷支援
- ・計画生産の強化と継続した市場への事前情報提供による有利販売支援
- ・産地単刈の策定と単刈品種の拡大支援

### 活動体制



### 用語解説

二輪ギク：1本の茎に二つの花を咲かせる中輪のキクで、主にいけばなの花材として使われる。二輪にするためにわき芽を摘み取る必要があり、労力負担が非常に大きい。

単刈品種：有利販売するために組合として計画的に生産、出荷する品種。